

# 中・下流域の生物①



釣りの対象魚としても お馴染みのハゼです。僕は海で生まれて、堀川を上がって北区までたどり着いたよ。秋には海に帰って行くんだ。堀川は、地下鉄の志賀本通駅の近くまで、海水が上がって来るから、塩分の変化に強い生き物が生活しているんだよ。



外来生物	生態系被害防止外来種	東山動植物園にて展示あり

**ウキゴリ**

回遊魚 動物食性。川でふ化した後、海に下り、少し成長してから川を上ります。名古屋市2015準絶滅危惧

**ウグイ**

純淡水魚・回遊魚 雑食性。川でふ化し、そのまま留まるものと、海に下り、成長して川を上るものがある。

**ウナギ**

回遊魚 動物食性。海で産卵・孵化し、仔魚は川を上る。また環境省の絶滅危惧IB類に指定されている。

**オオクチバス**

北米原産 元は食用・釣りで持ち込まれた。他の魚を食べるので生態系に影響を及ぼす。

**カダヤシ**

北米原産 メダカと違い尾びれが角張っていない。汚れや塩分にも強く上流から下流まで全域に生息する。

**カムルチー (ライギョ)**

純淡水魚 動物食性 アジア大陸原産魚やエビ類を食べ、生態系に影響を及ぼす。空気呼吸もできる。

**カワスズメ**

アフリカ原産 塩分濃度や水温への適応能力が高い。子煩悩で、卵から仔魚の間、親が口の中で保護する。

**コイ**

純淡水魚 昔、日本に持ち込まれた外来種。雑食性で大食漢。60cmを超える大物も泳いでいる。

**スミウキゴリ**

回遊魚 動物食性。川でふ化した後、海に下り、少し成長してから川を上る。名古屋市2015準絶滅危惧